

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*OHELO BERRY MARMALADEの瓶詰を発見

この題名では、「OHELO BERRY」というのはなんじゃい！と思われる方が多いことだろう。「OHELO BERRY」はハワイ島のアメリカの国立公園「Volcano National Park」の中に生えているオヘロベリーという灌木（写真1）の名前である。小さな果実をつける灌木で国立公園以外の溶岩地帯のサドルロードと呼ばれる道路脇にも生えている。アーカイブの仕事を



写真1 オヘロベリーを摘むN教授



写真2 オヘロベリーマーマレイド

していて表記の「OHELO BERRY MARMALADE」のラベルが張られた瓶詰（写真2）を発見したのである。退職された先人たちはデスクの周りのものを完全に始末されない方が多く、残されたものを片付けるのは後輩たちであるが、この仕事をしていてよくわかるのだが、本人には捨てられなかったものも後輩たちにとってはただの「ごみ」の場合が多い。私は先人たちに代が変われば本人が大切に保管していたものもただの「ごみ」になるから、天文台の歴史的なものならアーカイブ室に遺してほしいと言っている。

さて、今回発見された「オヘロベリー・マーマレイド」の瓶詰はだれが残したものかはっきりしないし、天文台に遺すべきアーカイブの対象かは？が付くであろう。しかし、ハワイに建設した大型光学赤外線望遠鏡「すばる」の建設に携わったもの、特に建設期の初期にハワイ島で奮戦したものにとっては、「思い出」のものであることは確かなのである。しかし、それは「オヘロベリー・マーマレイド」としてではなく、「オヘロベリー・ジャム」としてなのだが、

「すばる」建設のためにハワイに長期赴任の形で乗り込んだ最初のご仁はN教授であり、2番手が筆者であった。ハワイではゴルフ、釣りなどのスポーツが楽しめたがN教授はオヘロベリーを摘んでジャムを作って楽しんでいた。そのジャム作りは半端でなく、瓶詰を大量に作り、ハワイにやってくる学生に持ち帰らせ、日本のだれだれに渡せと強いていた

のである。瓶詰だから結構重い荷物になるので、筆者らは No. と言えない学生たちを気の毒に思っていたものであった。

後でハワイにやって来た職員のあるものはオヘロベリーを摘んで N 教授に届け、ご機嫌取りをするものまで現れていた。今回発見したものは、その N 教授が作ったオヘロベリージャムではなく、ハワイの業者が作ったオヘロベリーマーマレイドである。

ラベルには、「**OHERO BERRY MARMALADE** INGREDIENTS:SUGAR.OHERO BERRYCITRUS PECTIN NETWT6.75OZ」と書かれており、製造者として「Mfg.by ”TROPICAL BUTTERS” P.O.BOX 337 “VOLCANO HAWAII” 96785」とある。また「REFRIGERATE AFTER OPENING」の注意書きがある。

ラベルの左肩には商標であろう写真3の図が描かれている。MOUNTAIN APPLE とある。オヘロベリーのことを「山リンゴ」と言っていたのであろうか。



写真3



写真4 オヘロベリーの实

リンゴというには、いくらなんでも小さすぎる実(写真4)なのだが、赤いところはリンゴでもいいか! 筆者がハワイから帰ったのは2002年だからもはや13年近く経ってしまった。

この「オヘロベリーマーマレイド」はハワイの大型光学赤外線望遠鏡建設に携わったことない方の残されたものであろうと思われる。20年以上は経ていると思われる、開封していないとはいえ食する気にはなれない。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp